

令和元年度 一人一人の確かな学力のために

1年

	学年の目標	1学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名・片仮名の定着(100%)を図ります。身近な言葉と関連づけながら、日常生活で確認したり、文章の中で使ったりします。</li> <li>新出漢字の定着(まよめの50問テスト90点以上を9割)を目指します。そのために、週に1回程度、小テストを実施し、見直しや間違いを直す習慣を付けさせます。繰り返し漢字ドリルを使い、反復学習を行います。</li> <li>主語と述語を意識して、読んだり書いたりする児童を目指します。そのために、授業中、主語を入れて発表させたり、文章を書いたりするようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名の読みは100%ですが、正確に書くことに課題が残ります。引き続き、国語の時間などを活用しながら反復練習していきます。</li> <li>主語を入れて発表することで、90%の児童が主語を意識できました。作文でも主語と述語を意識して書けるように指導していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期末の単元末漢字25問テストでは、80%の児童が9割以上の得点をとり合格しました。</li> <li>現在行っている3学期の漢字小テストは、平均点が90点です。間違えた問題はそこで直ぐに直し、覚える習慣をつけ、学年末に向けて定着を目指します。</li> <li>文章を書くときは、ひらがなの「っ」や句読点を正確に書き、既習の漢字を使って文章を書く指導をします。文の役割や構造を学習し、会話の中にも自然と主語を明らかにして、話をする児童が増えました。文章を書く際にも生かしていけるよう、今後も指導します。</li> </ul>
基礎・基本 算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>1位数と1位数の加法・減法、簡単な2位数の加法・減法の定着(単元末テストで90点以上を9割)を目指します。そのために、週4回の補習タイムや家庭学習期間で既習内容の東京ベーシックドリルに繰り返し取り組みます。授業の始めに、フラッシュカードや計算ドリルを活用し、繰り返し計算練習を行います。</li> <li>時刻を読めるようにします。そのために、時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けるようにします。また、日常生活でも時計を活用して行動します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り上がりのないたし算・繰り下がりのない引き算は、90点以上は、7割にとどまりました。定着を目指し、今後も補習タイムなどを使い、反復練習をしていきます。</li> <li>学校生活で、時計を意識させています。1学期末に習う、何時、何時半の学習では、全員の児童が読めるよう指導していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り上がりのあるたし算・繰り下がりのあるひき算は週4回の補習タイムや家庭学習期間などの時間を使って復習することができました。学年末に向けて、バラス計算などを行い、たし算・ひき算の答えを瞬時に答えられるようにします。</li> <li>時計の学習では、普段の生活と関連付けながら、学年末に向けて、100%の児童が何時何分と正確に読むことができるよう指導します。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書に親しみ、1学年の読書目標100冊を達成できる児童を目指します。そのために、マイブックとしていつも手元に本がある状態にするなど読書環境を整えます。読み聞かせを行ったり、教科に関連する本を紹介したりして、読書に親しめるようにします。</li> <li>調べる学習ができる児童を目指します。そのために、国語科・生活科と関連させ、読書科ノートを活用し、調べる学習などの探究活動を年間12時間行います。</li> <li>パソコンの使い方を知ったり、マウスを使って簡単な絵を描いたりすることを指導し、全員ができるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝読書の時間読み聞かせなどを行って、読書指導をしています。8割の児童がその時間に集中して本が読めます。</li> <li>1学期は教科と関連し、調べる学習(クイズ作り)を行いました。本から必要な情報を見つけ、分かったことをまとめる学習をしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標の100冊は年間27人達成することができました。読書に親しむ児童が多く、目標の100冊を突破し、200冊、300冊と達成する児童もいました。マイブックを活用し、隙間時間に自主的に読書ができました。</li> <li>調べ学習では、自分で調べたいことを見付け、その答えを本から探し、本から必要な情報を書き抜く学習をしました。調べ学習のやり方を学び、すすんで休み時間にも図書館へ行き、取り組む児童がいました。</li> <li>パソコンの電源の入れ方を知ったり、マウスを使って簡単な絵を描いたりして親しむことができました。</li> </ul>
思考力・表現力・判断力	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら課題を見出し、見直しをもって解決することのできる児童を目指します。そのために、授業の始めに、めあてを明確にし、課題を解決するための教材、場、時間を確保します。自分の考えを具体物、絵、図、言葉で表現できるようにします。授業の最後には、まとめや感想を書いて振り返ることで、自分の達成度を確認したり、次時の課題をもたせます。</li> <li>自分の思いや考えをもち、友達に伝え合う児童を目指します。そのために、まずは、ペアで話し合う活動を行います。相手の発言を受けて質問したり、確かめたり、共感を示すようにします。話がつながることの楽しさや良さを価値付けます。</li> <li>学習過程が分かるノートを書くことができる児童を目指します。ノートの使い方を教え、めあて、考え、まとめなど学習過程が見開きで分かるように指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてや課題を明確にし、掲示して示すことで、課題解決に向けて意識して授業に取り組むことができました。自分の考えを図や言葉で書く児童も増えました。</li> <li>ペアで自分の考えを伝える、相手の考えを聞く活動などを設けることで、質問したり、共感を示す児童が増えました。「同じです。」「付け足しです。」「違う意見です。」と言い、お互いの意見を繋げていきます。</li> <li>実物投影機を使いながらノートの使い方を教え、約8割の児童が、黒板に書かれた文字を自分でノートに写すことができます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあて、見直し、自分の考え・学び合い・練習問題・まとめ・振り返りという学習の流れは定着しました。振り返りができないときもあり、次時の課題をもつことは今後の課題です。</li> <li>ペアや4人のグループの話し合い活動を行い、友達の見解に共感しながら聞くことができる児童が増えました。</li> <li>9割の児童が教師と同じようにノートを写すことができるようになりました。自分の考えを書くときは、図や言葉などを用い、自分なりに工夫しながら考えも書くことができるよう、今後も指導していきます。</li> </ul>
学習習慣・学習規律	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習時間を毎日15分(15分×1年生)取り組むことを目指します。そのために漢字・音読・算数の宿題を毎日課し、宿題の提出を確認します。そして、宿題の提出率100%を目指します。</li> <li>チャイム着席・次時の授業の準備の習慣化を目指します。一日の流れを掲示し見通しをもたせるとともに、できている児童をほめたり、グループで声をかけ合ったりさせることで100%の定着を図ります。</li> <li>話を聞く姿勢を身に付けます。そのために、話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手を見てだまって最後まで聞くこと、友達に伝えることを意識して話すことを指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題の提出率は、約90%です。前日に声掛けをしたり個別に指導したりしながら、今後も100%を目指します。</li> <li>朝の会で1日の流れを伝え、黒板や掲示板に視覚化しています。8割の児童がチャイム着席や授業の準備をしています。褒めて価値付けすることで、今後も100%を目指します。</li> <li>話を聞く姿勢は、現在も指導中です。発表するときは、友達の方を見て、届く声で伝えることを指導中です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題の提出率は95%です。家庭とも連携しながら、今後も100%を目指します。忘れても、その日の内に宿題に取り組み、終わらせることができました。</li> <li>チャイム着席は児童同士でも声を掛け合いながら、5割の児童が達成できています。次時の授業の準備ができている児童は3割程度です。年度末に向けて、声掛けを行い、意識させていきます。</li> <li>話し手を見ながら話を聞ける児童は7割です。引き続き話し方名人、聞き方名人を再確認し、目と耳と心で相手の話を聞く指導を徹底していきます。</li> </ul>